



建第 421 号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長殿

小林市長 堀 泰一郎



今後の道路行政についての

意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出いたします

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式-1

宮崎県小林市

[illegible]

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式-2

宮崎県小林市

○現状	○課題
地方では移動機関を車に頼ることや高齢化が進行していることで、安全に通行できるための道路整備が重要になります。地方の道路整備は以前、砂利道や狭小な道路を地権者の寄付等の出し合いにより、幅員を確保し舗装のみの改良を実施して参りました。	地方の道路は地権者の寄付等の出し合いにより、整備され、現在、補修が必要とされる時期に来ております。
近年になり車輛等の増加や大型化が進み、既道路では安全の確保が困難になっております。道路幅員は元より、カーブ部分での通行や確認が困難で、事故の発生が指摘されております。今後は更に高齢者の運転も予想されることから、交通での安全確保が重要になります。	現在の車社会の実情に合った道路の構成が指摘され、今後も更に整備を行うこととなりますが、この様に多くの社会資本を整備するには、市の単独予算だけでは負担が多く、大変厳しい状況にあります。
	今後、安心・安全な環境基盤を維持しながら構築して行くことは大変重要であり、更に市民の要望に応える為にも必要な事業を推進する為の支援の拡大と予算の獲得に向けた活動を継承したい。

道路は高速道路・国道・都道府県道・市町村道に分類されます。その目的は交通の発達に寄与し、公共の福祉増進することとあります。そのためにも道路財源を有効に利用して、少しでも地域の住民の要望を解消するために、地域の地形、地質、気象その他の状況及び交通状況を考慮し、安全かつ円滑な交通を確保することが出来るものでなければならぬと考えております。

地方における道路には地区と地区を結ぶ主要的な幹線道路と市民が日常生活を営む上での生活道路がありますが、その道路自体の構造と構成は地域の実情や通行車輛の種類や総数等の要件を満たすものであれば十分であると考えます。

地方で事業を採択するには、交通量や効果等の評価が指摘され、大変厳しいこととなります。しかし、地方はどうしても車に頼らざるを得ないことから推奨することとなります。人々に優しい、便利で利用しやすい道路の確立を目指し、住民が安心・安全で、子供や高齢者にも住み易い環境基盤を目指す事が重要である。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例・期待する効果や評価等)

様式-4
宮崎県小林市

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
国・県道の2車線化	市街地がその周辺へと移行した事により、車輛の右折等による交通渋滞や事業が途中で休止している為、安全で健全な走行ができない状況にある。	交通渋滞の解消や交通事故の発生防止に効果があり、容易な走行車輛の確立を図る。	
道路構造の見直し	山間部等で道路を建設する場合、交通量や地形その地の条件を考慮して1.5車線を取り入れ、カーブ改良や離合箇所を計画する	交通量の少ない道路や大型車輛の通行を考慮した道路を建設することで道路維持の延命や施工区間を延長し、未改良道路の短縮と早期完成に寄与する	
踏み切りの新設 (駅裏の活性化)	駅周辺(駅前・裏)を区画整理事業により、整備を実施していますが、駅前と裏を結ぶ道路がなく交流がない状況である。	地域を結ぶ道路を構築する事で、地域の特性(駐車場・商店街・住宅地)を生かし街の形成を図ることで活性化に繋がる。	